

ヘブル
人への
手紙
6

初歩の教えを 礎として

ヘブル人への手紙6章

信仰の成熟を目指して

Shikaoichurch.com

あなたは、答えられますか？

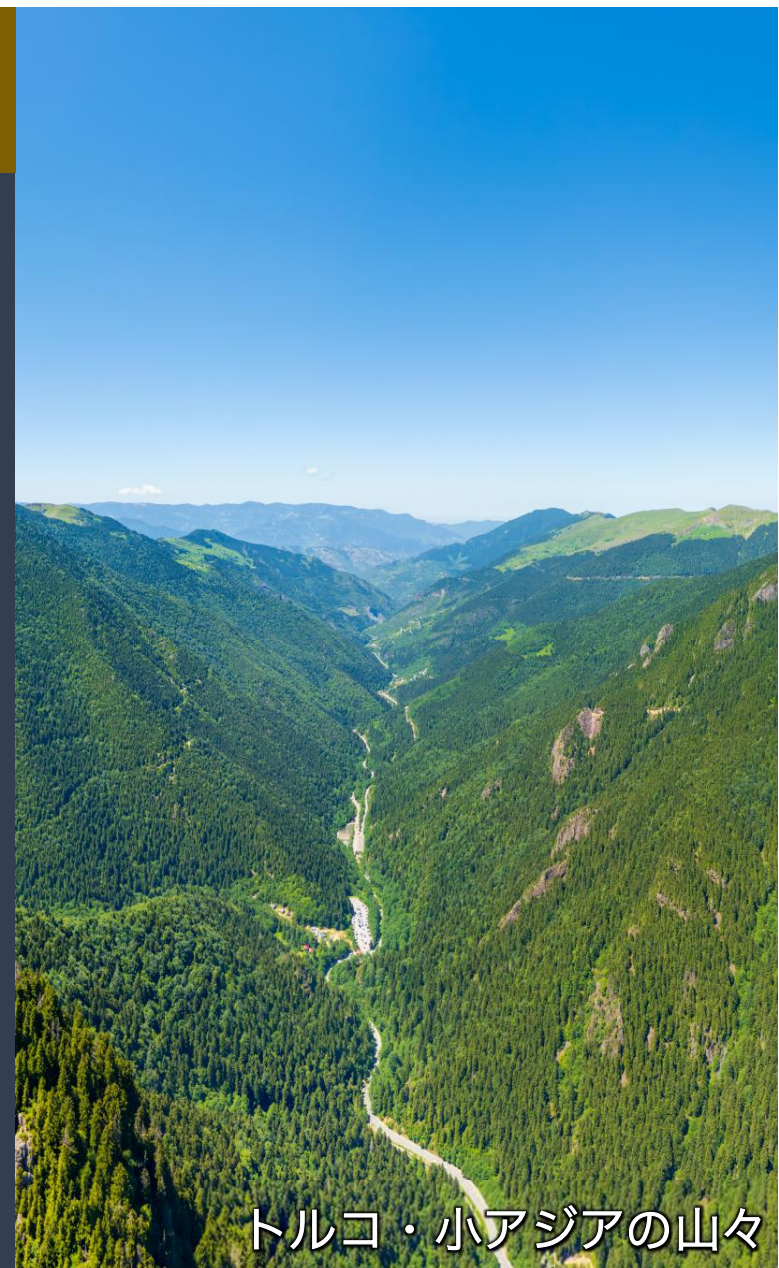
- 救いって？ どうしたら、救われるの？
- 信じるって、どういうこと？
- バプテスマの意味は？
- どうしたら、牧師(長老・指導者)になれるの？
- なんで人は死ぬ？ こんな悲惨な死があるの？
- 人は、どこから来て、どこに行くの？

信仰者として立てられていこう!!

① 初歩の教えから踏みだし 1~3

② 愛の奉仕に立ち返りつつ 4~12

③ 神の保証を希望として 13~20



トルコ・小アジアの山々

「あなたがたは、年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神が告げたことばの**初歩**を、もう一度だれかに教えてもらう必要があります。あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。

ヘブル5:12」

まずは、神の言葉の初歩を理解しているか？



① 初歩の教えから踏み出し

6章1～3節

トルコ・カッパドキア

①初歩の教え 成熟を目指して 6:1~3

ですから私たちは、キリストについての**初歩の教え***を後にして、**成熟を目指して**進もうではありませんか。死んだ行いからの回心、神に対する信仰、きよめの洗いについての教えと手を置く儀式、死者の復活と永遠のさばきなど、**基礎的なことをもう一度やり直したり**しないようにしましょう。

神が許されるなら、先に進みましょう。

*当時のユダヤ人の救いに必要な教え

*主が阻まれない限りは(もちろん、ない!!)



①とどまるべきでない初歩の教え

- ①死んだ行いからの回心 …口伝律法からキリストの律法へ
- ②神に対する信仰 …信仰と恵みによる救い。福音。
- ③きよめの洗い …バプテスマ
- ④手を置く儀式 …長老への按手。権威の授与。
- ⑤死者の復活 …神の国での復活の栄光の体
- ⑥永遠のさばき …メシアによる裁き ➡永遠の滅び



②愛の奉仕に立ち返りつつ

ヘブル人への手紙6章4～12節

トルコ

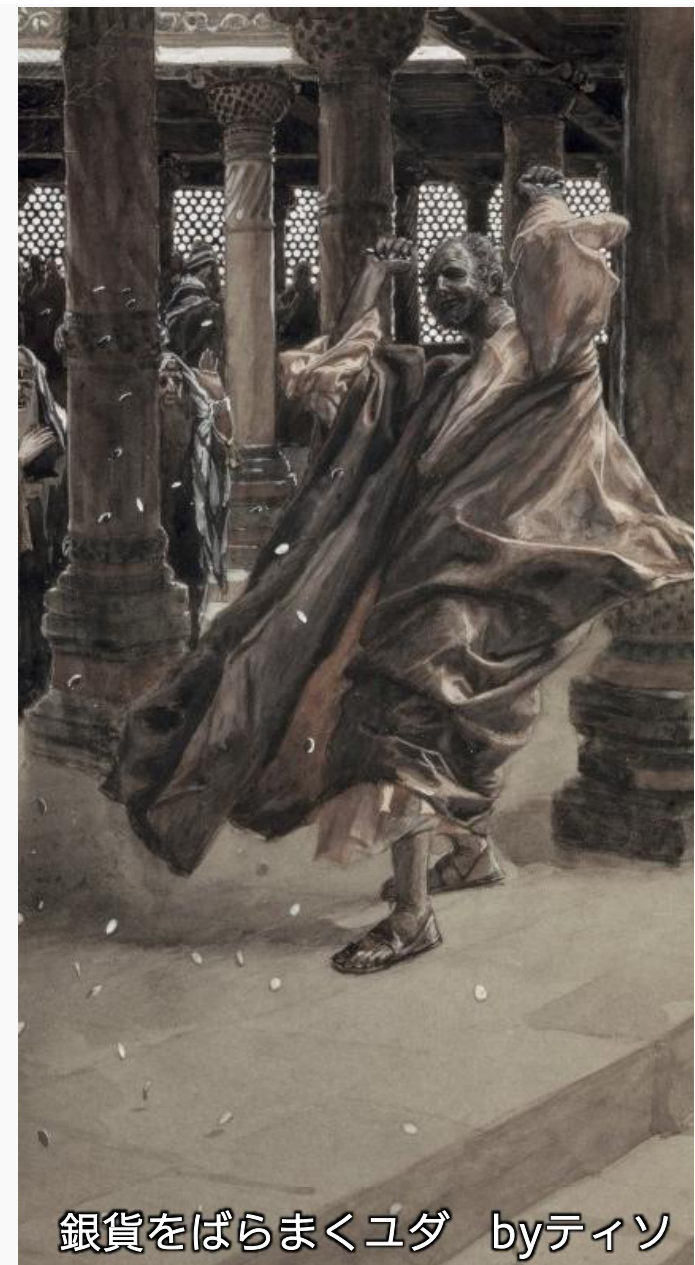
②愛の奉仕

最重度の警告 ヘブル6:4～6

一度光に照らされ、天からの賜物を味わい、聖霊にあずかる者となって、神のすばらしいみことばと、来たるべき世の力を味わったうえで、墮落してしまうなら、そういう人たちをもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、さらしものにする者たちだからです。

■ 聖書の知識と神の臨在の体験を味わいながら、主への信頼がなかった者。墮落は当然の結末。

➡この代表が、十二使徒の一人・ユダ

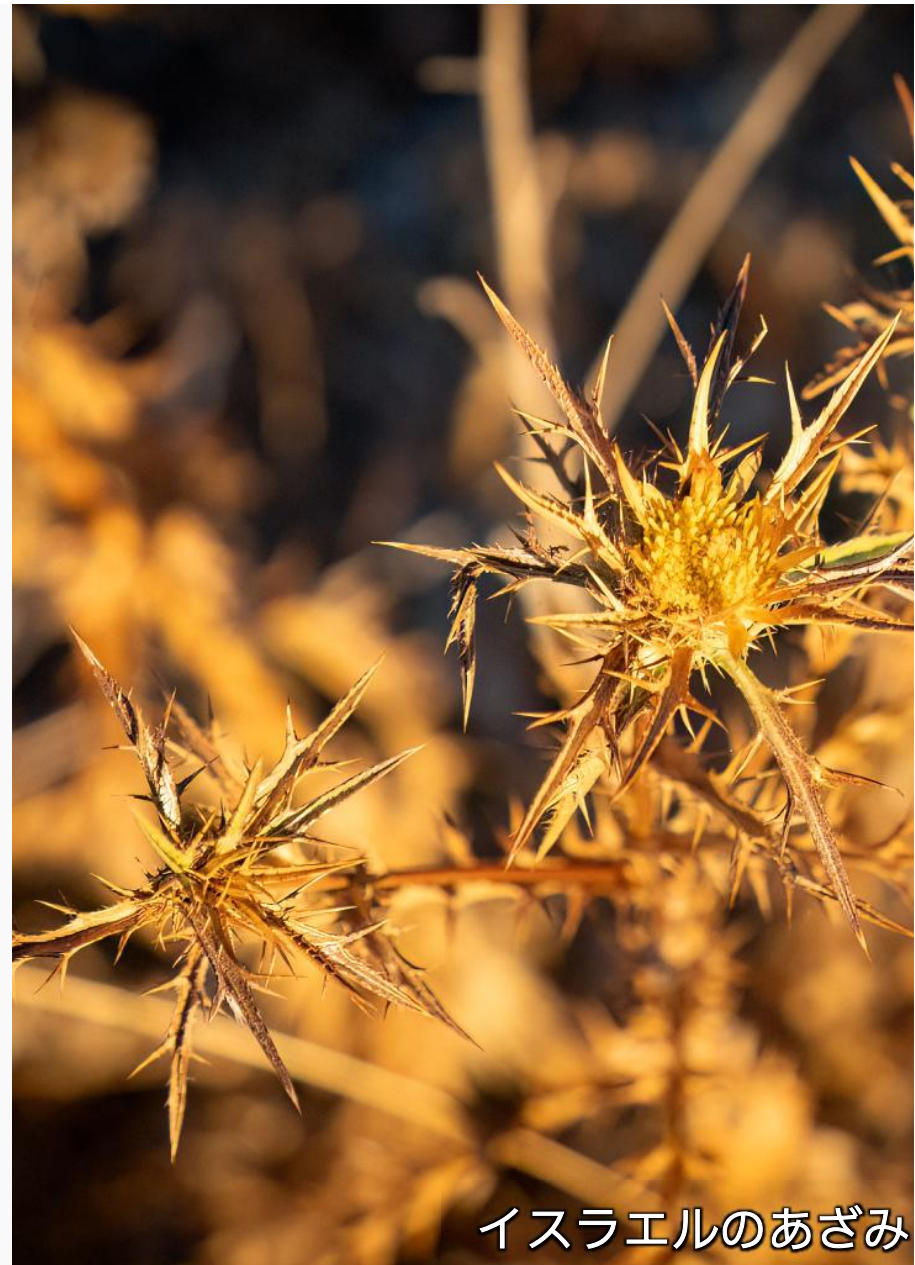


銀貨をばらまくユダ byティン

②愛の奉仕 罪人の末路 6:7～8

たびたび降り注ぐ雨を吸い込んで、耕す人たちに有用な作物を生じる土地は、神の祝福にあずかりますが、茨やあざみ*を生えさせる土地は無用で、やがてのろわれ、最後は焼かれてしまうのです。

*人の罪の結果、地に生じた(創3:13)



イスラエルのあざみ

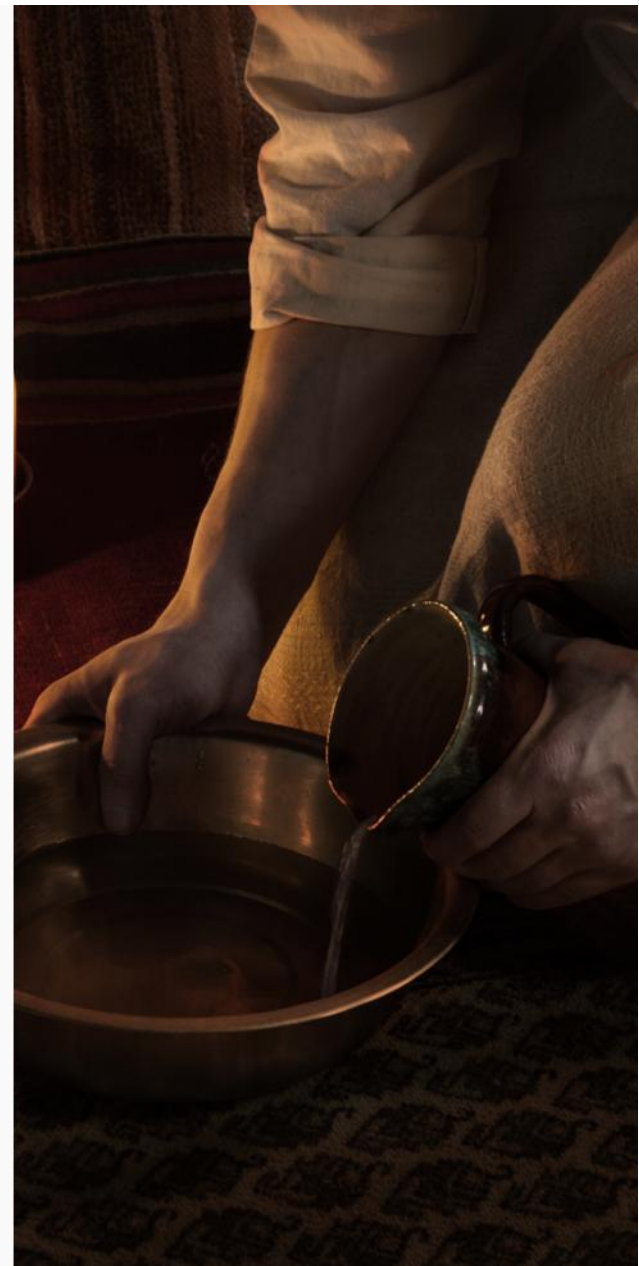
②愛の奉仕

励まし ヘブル6:9～10

だが、愛する者たち。私たちはこのように言うてはいますが、あなたがたについては、もっと良いこと、救いにつながることを確信しています。

神は不公平な方ではありませんから、あなたがたの働きや愛を忘れてたりなさいません。あなたがたは、これまで聖徒たちに仕え、今も仕えることによって、神の御名のために愛を示しました。

■ 人々の立ち返りとさらなる成長を願って。



②愛の奉仕

使徒の願い 6:11~12

私たちが切望するのは、あなたがた一人ひとりが**同じ熱心さ***を示して、最後まで私たちの希望について十分な確信を持ち続け、その結果、怠け者とならずに、信仰と忍耐によって約束のものを受け継ぐ人たちに倣う者となることです。

***はじめの愛と変わらない熱心さ**

■ 全ての信仰者が歩む道のゴールは一つ。

どんなに幼子でも。

■ 使徒や聖徒たちが、私たちの道の先にいる。



②愛の奉仕に立ち返り

- 聖書の知識と神の臨在の体験を味わいながら、主への信頼がない者がいる。墮落は当然の帰結。
- 福音を真に信じた者には、立ち返るべき最初の愛がある。悔い改めという信者に与えられた特権を行使しよう。
- すべての信者の道は、栄光の主の御国につながっている。



③神の保証を希望として

ヘブル人への手紙5章13～20節

トルコ

③神の保証

アブラハム契約 6:13～15

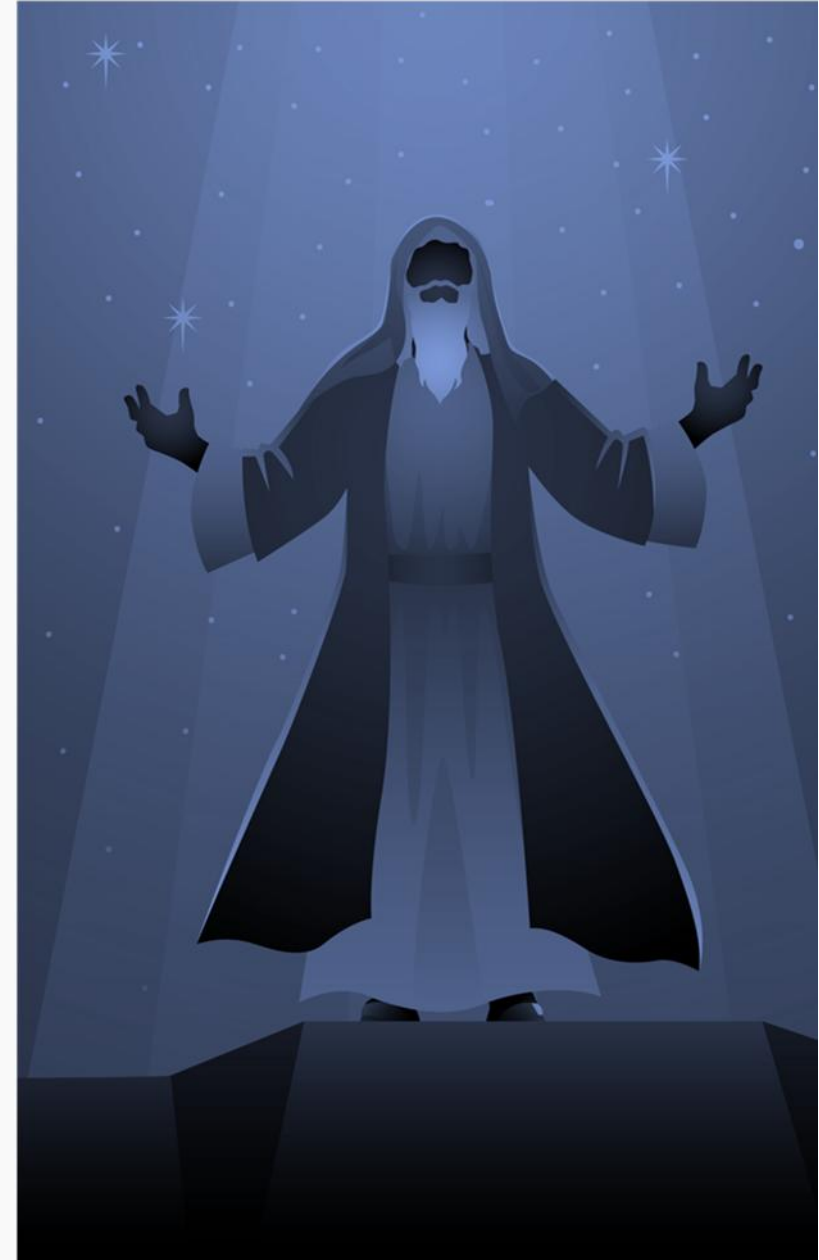
神は、アブラハムに約束する際、ご自分より大いなるものにかけて誓うことができなかったため、**ご自分にかけて誓い***、「確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたを大いに増やす」と言われました。

このようにして、アブラハムは忍耐の末に約束のものを得たのです。

***神が責任を担う片務契約(創15:17)**

■アブラハム契約は、

神の恵みによる永遠の契約。



③神の保証

神の誓い ヘブル6:16~17

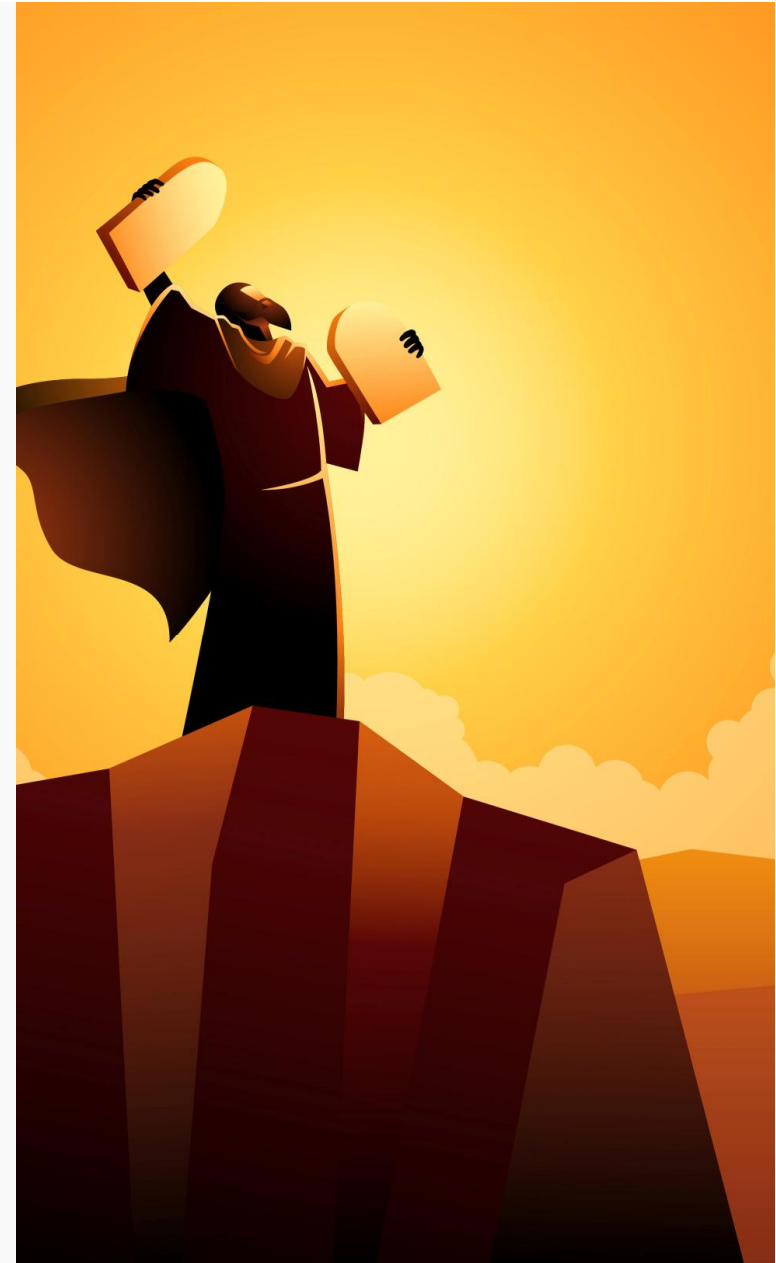
確かに、人間は自分より大いなるものにかけて誓います。そして、誓いはすべての論争を終わらせる保証となります。

そこで神は、**約束の相続者たち***に、ご自分の計画が変わらないことをさらにはっきり示そうと思い、誓いをもって保証されました。

*アブラハムの子孫。接ぎ木された異邦人も

■ 聖書に記された神の契約は、

神の誓いによる保証。



③神の保証

永遠の約束 ヘブル6:18

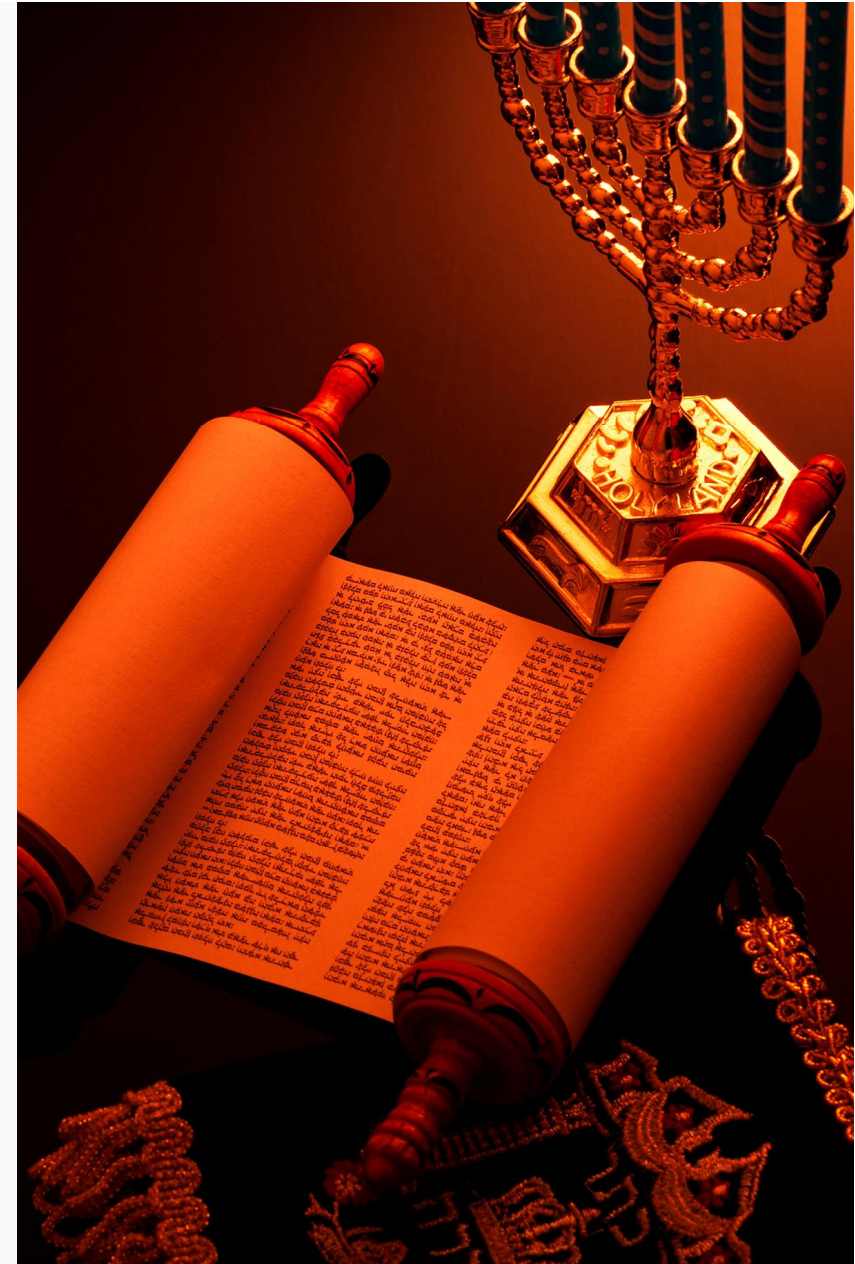
それは、前に置かれている希望*を捕らえようとして逃れて来た*私たちが、約束と誓いという変わらない二つのものによって、力強い励ましを受けるためです。その二つについて、神が偽ることはあり得ません。

*将来に約束された希望・神の国

*過去のものとなった律法からの脱出

■ 主の約束も誓いも不変。永遠のもの。

神は、ご自身を否むことができない。



③神の保証

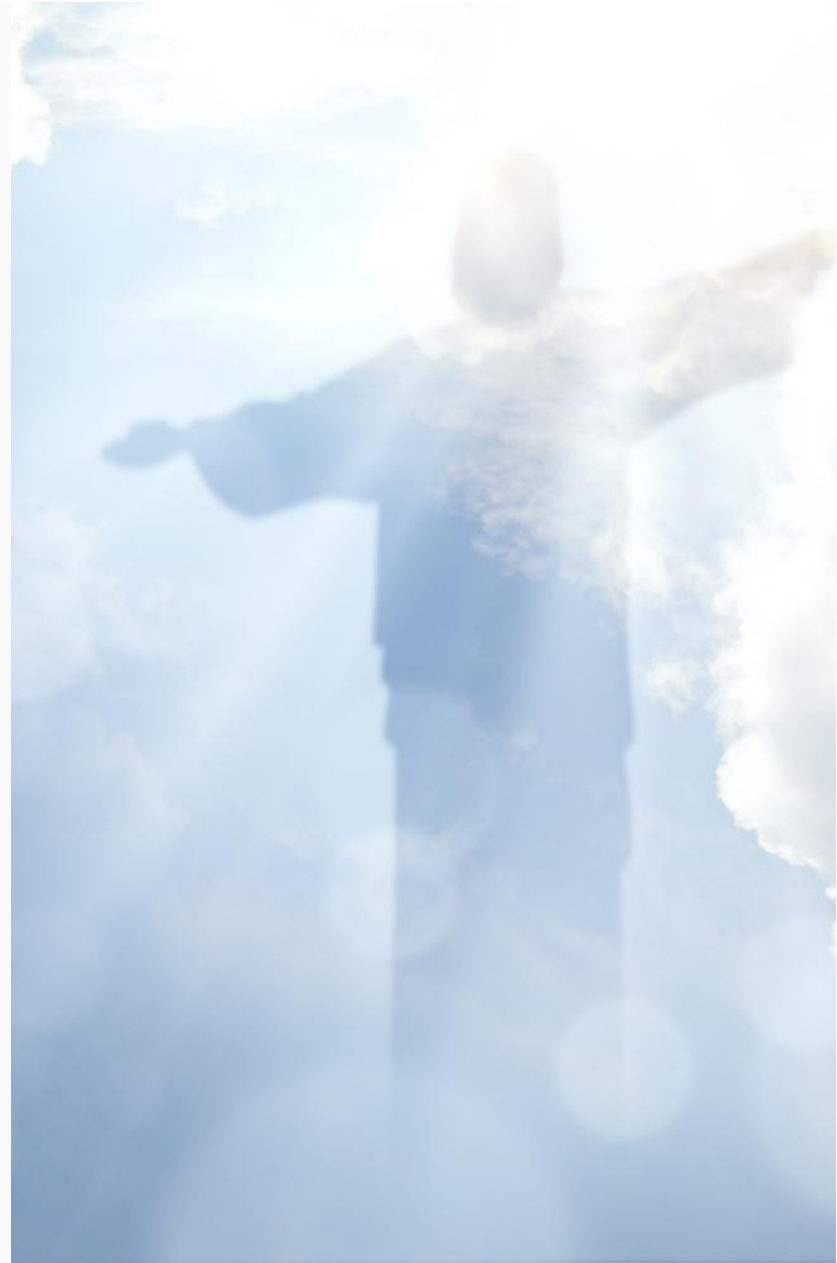
栄光の内へ 6:19~20

私たちが持っているこの希望は、安全で確かな、たましいの錨のようなものであり、また幕の内側*にまで入って行くものです。

イエスは、私たちのために先駆けとしてそこに入り、メルキゼデクの例に倣って、とこしえに大祭司となられたのです。

*幕屋の最奥に、神の栄光が臨在。

■私たちは、大祭司イエスに導かれ、来るべき神の栄光の王国へ向かっている。



③ 神の保証を希望として

- イスラエルは、神の永遠の契約に支えられている。接ぎ木された異邦人信者も同様に。
- 来るべき神の国に、栄光の体で招き入れられる。
- 神の約束と誓いによる保証が、私たちの希望の源。私たちが成長させ、救いの確信を深めさせていく。

神の契約を学び、契約に生きて、成長する



まとめと適用

信仰者として立てられていこう

① 初歩の教えから踏みだし …成長を求められる主に応える。

義認

② 愛の奉仕に立ち返りつつ …悔い改めつつ、主に従い歩む。

聖化

③ 神の保証を希望として …神の栄光が、私たちの希望、力。

栄化

適用①

信仰の幼子から踏み出しているか？

【大前提】 初歩の教えを正しく理解し、身につけているか？

- ①救いの原則 …福音への信仰と恵みによる救い
- ②神に対する信仰 …三位一体の神。人であり神である主イエス。
- ③バプテスマ …聖霊によるバプテスマ。儀式としての洗礼。
- ④按手 …霊的指導者の権威。神の権威への従順。
- ⑤永遠の命 …千年王国での栄光の体への復活。新天新地へ。
- ⑥永遠の滅び …主イエスの裁き。罪と死とよみの最終的滅び。

適用② 日々、悔い改めつつ、主に従い歩んでいるか？

■いつでも立ち返るべきは、最初の愛。

➔罪人の私のために、主イエスは十字架なれ、復活された。
ただ主イエスの福音を信じて、私の罪はゆるされた。

■主を愛を忘れ、罪を犯してしまった時には、立ち返る。

主の愛から離れていないか、御言葉と御霊によって日々確認。

「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。 |ヨハ1:9」

適用③

神の栄光のゴールを希望、力としているか？

- 救いの確信も、忍耐して主に従う力も、神の約束が礎。
- 神の栄光に至る、神の計画の全貌を正しく理解しているか？
…携拳、大艱難、再臨、千年王国、そして新天新地へ
- 神の契約に基づく、計画の全貌を学び、理解していこう。

適用

確信を深められていっているか？

①義認(信仰と恵みによる救い)



②聖化(聖霊による日々の成長)



③栄化(神の計画を理解する)



栄光のゴールを目指す
日々の信仰の成長が、
救いの確信を強める

「不信仰になって神の約束を疑うようなことはなく、かえって信仰が強められて、神に栄光を歸し、神には約束したことを実行する力がある、と確信していました。だからこそ、

『彼には、それが義と認められた』のです。ロマ4:20~22」

★ 信仰者として立てられていこう ★

■ 初歩の教えを、まず身に着けているだろうか？

■ 教わったことを、日々、実践しているだろうか？

悔い改め、最初の愛に立ち返りつつ、歩んでいるだろうか？

■ 神の計画の全貌を理解し、ゴールを意識しているだろうか？

信仰の確信を深められ、日々に押し出されているだろうか？

義認、聖化、栄化の道を確かに歩み続けていこう!!

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

さいしょ あい た かえ しょほ おし かた た あゆ
最初の愛に立ち返りつつ、初歩の教えに固く立って歩みます。

みことば みたま うなが したが く あらた ひび つか
御言葉と御霊の促しに従い、悔い改めつつ日々遣わされます。

えいこう きぼう かくしん あか もの
栄光のゴールを希望に、確信をもって証しする者としてください。

かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」